



1



2

1_ 本町から届けた雪(約 200*_□)で、雪だるま作りや雪合戦を楽しみました 2_ 猪小の校庭でクロスカントリースキーをする桃原さん(中央)ら 3_ さとうきび親善大使と猪小6年生のみんなで記念撮影

役場の人とか猪苗代小の人とか朗らかでなじみやすい。みんな温かい！

木がいっぱいあったり、山が近くにあって自然が豊か。一面、雪！



さとうきび親善大使を務めた、仲村さん(左)と桃原さんに猪苗代町の印象を聞きました。

福島と沖縄の交流を深める

うつくしま・ちゅらしま総合交流事業

「雪だるま親善大使」に選ばれた猪苗代小学校6年生の井上陸生さんと鶴川嶺王さんは、1月23日から25日まで、沖縄県を訪問しました。福島県と沖縄県は交流を目的とした「うつくしま・ちゅらしま総合交流事業」を続けており、本県からは雪だるま親善大使が派遣されています。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの派遣となりました。

雪だるま親善大使の2人は、沖縄県庁で照屋義実副知事を表敬訪問したほか、首里城などを見学しました。24日には、宜野湾市の普天間第二小を訪れ、交流会で本町を紹介したり、一緒に雪遊びをしたりしました。

2月7日から10日には、沖縄県の「さとうきび親善大使」として普天間第二小学校6年生の桃原叶さんと仲村 隆一朗さんが本県を訪れました。8日に猪苗代小を訪れ、クロスカントリースキーやそり滑りなどの雪遊びを通じて両校の児童が交流を深めました。



3

美ら海水族館のジンベイザメが印象的でした。角煮や海ぶどう、刺身など食べ物おいしかったです。

首里城や美ら海水族館、玉泉洞の鍾乳洞に行きました。楽しかったです。交流会では歓迎してもらいました。



雪だるま親善大使を務めた、井上さん(左)と鶴川さんに沖縄に行った感想を聞きました。



放水訓練を行う消防団員ら

貴重な文化財を火災から守る

文化財防火デー火災防御訓練

町内の貴重な文化財を守るための「第69回文化財防火デー火災防御訓練」は1月22日、旧山内家住宅で行われ、消防団員や消防署員ら約120人が参加し、文化財の搬出や初期消火、放水などの訓練を実施しました。

訓練終了後、前後公町長が「日頃の成果が遺憾なく発揮されており、今後とも地域ぐるみの訓練や予防消防活動の強化に尽力してください」と講評を述べました。

冬山遭難に備えて訓練

猪苗代スキー場で冬山遭難救助訓練を実施

町山岳会、警察署や消防署などで組織する猪苗代地区山岳遭難対策協議会は1月26日、猪苗代スキー場で冬山遭難救助訓練を実施しました。

訓練には、同協議会の会員ら約20人が参加。スノーシューをつけた歩行訓練や遭難者が雪に埋まったことを想定した捜索訓練などを行いました。参加者は、遭難救助に必要な技術や知識の向上に向けて訓練に取り組みました。



弱層テスト(雪崩が起きるかどうかの確認)の訓練をする参加者

町消防団の車両を整備

小型動力ポンプ積載型軽自動車交付式

町から町消防団への小型動力ポンプ積載型軽自動車交付式は1月31日、町役場で行われ、消防団員や地区関係者ら約20人が出席しました。式では、前後公町長が「地域住民の安全安心を確保するため、十分な訓練を重ね、有事に備えてください」とあいさつし、六角武志消防団長に管轄を手渡しました。六角団長は「日頃から訓練に励んで、この機械を十二分に活用できる体制を整えていきます」とあいさつを述べました。



小型動力ポンプ積載型軽自動車の使い方を教わる団員ら

ハクチョウの生態を学ぶ

千里小1年生がハクチョウを観察

千里小学校1年生の児童13人は2月16日、猪苗代湖北岸に飛来したハクチョウを観察しました。観察会では、猪苗代湖の自然を守る会代表の鬼多見賢さんが猪苗代湖に飛来するハクチョウの種類や生態などについて説明。児童は、コハクチョウとオオハクチョウの大きさや鳴き声の違い、ハクチョウの羽の役割などについて学びました。その後、児童は湖岸で羽を休めるハクチョウの様子を間近で観察しました。



猪苗代湖北岸でハクチョウを観察する児童ら